



剛 小川 (清風クラブ)

雇用・労働について

子育てをしながら仕事探しをする方への支援について

問 子ども連れで仕事探しができキッズコーナーもある「お仕事相談パーク」を他市では開設した。当市も必要ではないか。

答 人員調達があるので、関係部署や労働局と協議し検討します。

雇用対策における労働局との連携

問 市役所に求人端末を置き、福祉課等に来所した仕事を探す方がフンストップでサービスを受けられる体制づくりの考えは。

答 労働局等と協議し検討します。

障がい者の福祉施設から一般就労への移行の現状について

問 農家の高齢化や労働力不足等の課題があり、農業現場で働く例もあるが雇用開拓はどうか。

答 福祉施設から農業分野へ一般就労された方もいます。

企業誘致候補企業への対策

問 アンケート調査を実施しているようだが結果はどうか。



他市のお仕事相談パーク

答 全国二千七百六社に実施し、群馬県等に新設や移転を考えている企業が十九社ありました。

問 工場の緑地率の緩和等、企業を呼び込む規制緩和はどうか。

答 国の同意が必要であり協議検討したいと思います。

アクセス道路整備について

問 企業誘致は道路が広く使い勝手も決め手となるが計画は。

答 国交省への働きかけや横野平工業団地から富岡ICに向かう県道建設が計画されています。



行 小林 (民声クラブ)

災害対策・教育改革について

雪害対策について

問 除雪業者を二十三社以上に増やすことはできるか。

答 新年度では契約者の増社を検討します。

問 歩道除雪について必要な除雪機具等を区・自治会・PTA等に貸し出すことはできるのか。

答 道路里親制度を研究し除雪用具の提供など検討します。

問 融雪剤の公共施設への常備は可能か。

答 連絡を頂ければ、現地確認後の砂袋の提供は可能です。

問 高崎市のような、農業用機械を用いた除雪活動支援はどうか。

答 法的な規制もあり市から直接依頼することは難しいと考えています。

問 小型除雪機購入の補助制度の創設が必要だと思うが。

答 検討します。

中一ギャップについて

問 解消に向けた取り組みは。

答 小中連携教育として、合同挨拶運動や一部の小学校で教科担任制の導入を実施しています。

小中一貫教育について

問 新年度より小中一貫教育を目的とする義務教育学校が設立可能となる。かなりの成果が認められているが今後の対応は。

答 小中連携教育、小中一貫教育については積極的に進めていきたいと考えています。義務教育学校設立については総合的な検討課題とさせていただきます。



除雪の様子